

2021/7/30

# リトルハウス通信

今月のリトルハウス通信は、4月に障害者雇用にて水耕栽培農園の事業所に就職した、元リトルハウスメンバーBさんのお話をしたいと思います。

Bさんが就職してから2ヶ月ほどが経過し、その後の様子を伺おうと、Bさんの職場にお邪魔しました。私が事業所につくなり Bさんはさわやかな笑顔で、入口にて私を出迎えてくれました。

そして検温や外部の人間の入出手続きが必要である事を丁寧に教えてくれ、その後 Bさんの案内の元、面談室に通され、そこでBさん、Bさんの上席の方より、現在の就労状況について色々を知る事ができました。



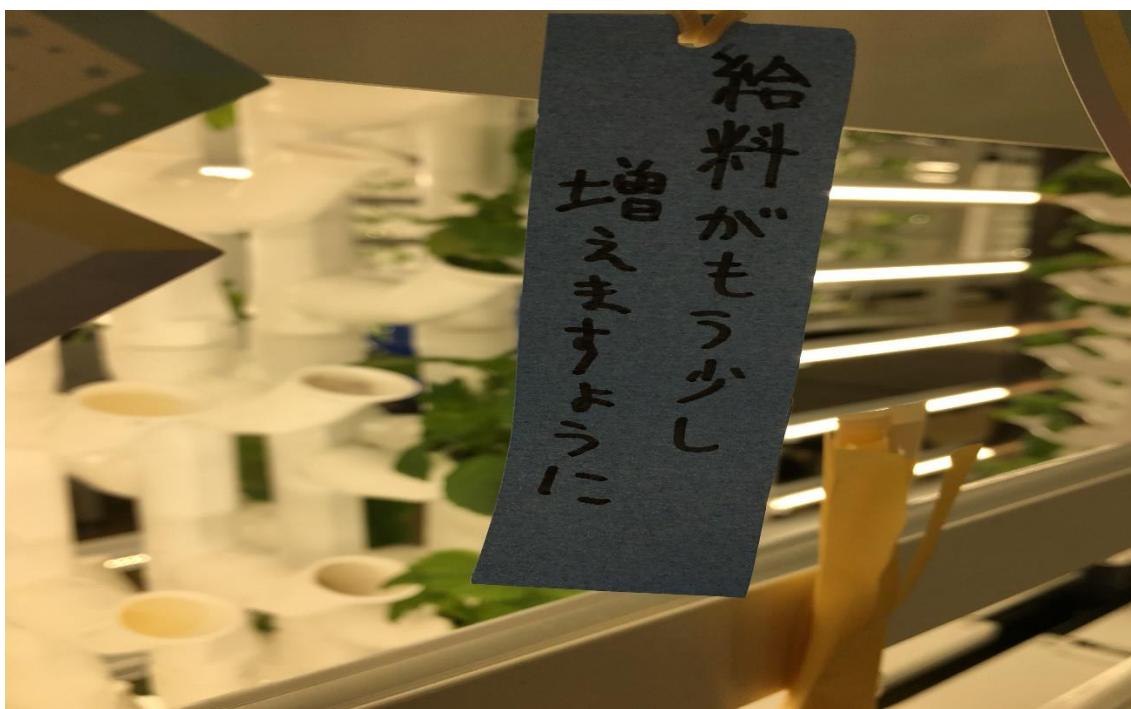
作業内容は主に、上記 B さんの写真の背景に映りこんでいるような、レタスや小松菜等を種付けから収穫までを行う事が主だそうです。

そのような作業をする中で、B さんは特に収穫作業にやりがいを感じているという事で、収穫した野菜を切って袋に梱包する事がとても楽しく感じているとハキハキ答えてくれました。

B さんの上席の方から「B さんは遅刻欠勤も一切なく、周りをしっかりと見ながら先回りして作業ができる方です。一緒に働いている同僚に対しても細かい気配りができる頼れる存在です」と仰って頂き、B さんの潜在能力が大きく開花したんだと感じました。

以前、リトルハウス 4 月号で、B さんが当企業へ入社した経緯について触れましたが、リトルハウス在籍時、そして入社式当時に比べ、B さんの活発さと頼もしさ、そしてなにより笑顔が増した印象を今回の面談で強く感じる事ができました。そんな B さんが就労先でイキイキと過ごしている様子が確認できたことは、私にとって大きな収穫でした。

そして帰り際、七夕の短冊に職員が願い事を書くというレクリエーションがあったそうなのですが、その時に書いた短冊を見せて頂きました。そこに書かれた B さんの願い事を最後にご紹介したいと思います。



この短冊に書かれた願い事を B さんと上席の方、私と一緒に見て「正直だなー」と、笑い合いました。

今後も定期的に B さんの職場を訪問する予定でいます。また明るくイキイキとした B さんの姿が見れる事をととても楽しみにしています。  
(鈴木)